

令和元年度「幼児からの自然体験活動指導者研修」 開 催 要 項

1. 趣 旨 渡嘉敷島の自然を活かした自然体験プログラムを「幼稚園教諭」や「保育士」「保育教諭」等が五感を使って体験することによって、自然体験活動の意義を理解し、今後の指導力向上を担うことを目的とする。
2. 主 催 独立行政法人国立青少年教育振興機構 国立沖縄青少年交流の家
3. 後 援 沖縄県教育委員会、渡嘉敷村教育委員会、沖縄タイムス社、琉球新報社
4. 期 日 令和元年 6月21日(金)～ 6月22日(土) 1泊2日
5. 場 所 国立沖縄青少年交流の家
6. 対象・定員 幼稚園教諭、保育士、保育教諭、又はそれを目指している学生等
80名(先着順)
7. 受講費用 3,500円(食費、シーツ代、雑費等)
※別途往復船舶費3,100円、渡嘉敷島での貸切バス代金1,000円程度、情報交換会費500円が必要になります。

8. 内 容

内 容 と 形 態	時 間	講 師
講義：体験活動の意義と幼稚園教育要領・保育所保育指針・幼保連携型認定こども園教育保育要領解説 体験活動の教育的意義、指導者の役割と資質を理解するとともに幼稚園教育要領・保育所保育指針・幼保連携型認定こども園教育保育要領との関連を理解する。	1.5	沖縄キリスト教短期大学保育科 教授 照屋建太
講義：幼児期における運動と水辺の安全管理 幼児期における運動の効果と水辺の安全管理について学ぶ。	1.5	特定非営利活動法人 沖縄ウォーターパトロールシステム 理事長 音野太志
実技：自然素材を用いたクラフト 身近な材料を使っておもちゃをつくる。	1.5	手作り遊び工房ふぁーかんだー 代表 照屋寛信
実習：体験活動の指導法① ～マリン活動～ 渡嘉敷島の自然を活かしたマリン活動を実際に体験し、その良さを実感するとともに安全管理体制について学ぶ。	2.5	国立沖縄青少年交流の家 企画指導専門職 西原琢哉 企画指導専門職 真壁義隆
実習：体験活動の指導法② ～野外炊事～ 野外炊事についてセーフティトークの研修と実践を行い、安全管理体制や子供同士の関係を深めるための指導法を学ぶ。	3.0	国立沖縄青少年交流の家 企画指導専門職 西原琢哉 企画指導専門職 真壁義隆

9. 研修日程

幼児からの自然体験活動指導者研修

6/21 (金)	9:00		10:00		11:10		11:40		12:00		13:00		14:30		16:30		17:30		19:00		20:30	
		那覇市泊港 とまりん集合	フェリー 出航	渡嘉敷港 着 本館 移動	開校式	昼食	講義 「体験活動の意義と幼稚園教育要領・保育所保育指針・幼保連携型認定こども園教育保育要領解説」	講義 「幼児期における運動と水辺の安全管理」	休憩	夕食 入浴	実習 自然素材を用いた クラフト	情報交換会										
6/22 (土)	起床	洗面	健康 確認	朝のついで 朝食 清CH	移動	実習 「体験活動の指導法①」 マリン活動 実習 クラフト②		実習 「体験活動の指導法②」 野外炊事		閉校式	移動	フェリー 出航	那覇市泊港 にて解散									

※マリン活動に参加できない参加者は「実習クラフト②」を行う。

10. 申込み 令和元年 5月27日(月) ～ 6月9日(日) ※定員に達し次第受付終了
別紙の参加申込用紙に必要な事項を記入の上、下記まで E-mail または FAX にて申込み
して下さい。また送信後、電話にて確認をお願いします。
※受講者が定員に満たない場合は再募集する場合があります。

11. その他

- (1) 6月21日(金) 9:00に泊ふ頭ターミナルビル(とまりん)にて受付をした後、乗船券をスタッフ
が配布します。
- (2) 事業開催中の画像(写真・動画)・感想文・制作物は当機構や本所の事業に関する報告書、広報及
びホームページなどに利用させて頂くことをご了承ください。不都合のある方は事前にご連絡く
ださい。
- (3) 住所・電話番号等の個人情報は、当事業に係る業務に利用するものです。それ以外の目的で使用
及び提供することはありません。

【申込・問合せ先】

国立沖縄青少年交流の家

〒901-3595 沖縄県渡嘉敷村字渡嘉敷2760番地

TEL 098-987-2306 FAX 098-987-2318

E-mail okinawa@niye.go.jp 担当: 西原 琢哉